

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学
連合小児発達学研究所教授会記録

日 時	平成21年 4月22日(水) 午後3時2分～午後4時1分
場 所	各校講義室にて遠隔講義システムにより開催
出席者	(大阪校) 遠山研究科長、大藪教授、片山教授、谷池教授、永井教授、畑澤教授 (金沢校) 浅野教授、大井教授、小泉教授、柴教授、東田教授、三邊教授 (浜松校) 尾内教授、武井教授、鳥塚教授、森教授 (計16名)
欠席者	(大阪校) 井村教授、(浜松校) 大関教授 (計2名) ※ 研究科長の他、五十音順 [合計18名]

議事に先立ち、第1回の教授会開催にあたり、研究科長から挨拶があった。

議 事

【協議事項】

1. 教授会構成員について

研究科長から、教授会規程第1条第1項各号により、配付資料のとおり教授会構成員となる者16名について説明があった。

なお、大阪校から教授会規程第1条第2項「教授会が必要と認めた者」として井村教授(大阪大学人間科学研究科)を、金沢校から三邊教授(金沢大学医薬保健研究域医学系)を新たに兼任教授とし、教授会構成員としたい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

また、兼任教員の変更等について、兼任教授においては教授会構成員候補者となる資格が付与されるため協議事項とし、教授以外の兼任教員においては報告事項とすることが確認された。引き続き、金沢校小川教授から櫻井教授への交代について、審議の結果、承認され、その他兼任教員の交代について報告があった。

2. 副研究科長及び講座代表者の選出について

研究科長から、大阪校の副研究科長として谷池教授、金沢及び浜松校の副研究科長は、各校から推薦のあった大井教授(金沢校)、武井教授(浜松校)をそれぞれ指名し、審議の結果、承認された。

また、講座代表者について、片山教授(大阪校)、柴教授(金沢校)、武井教授(浜松校)が各校から選出された旨の報告があった。

3. 開設記念シンポジウム及び記念式典・祝賀会の開催について

研究科長から、配付資料により説明があり、審議の結果、承認された。

4. 授業における出席の取扱いについて

小泉教授から、e-Learning教材にて授業を視聴する学生の出席の取扱いについて提案があり、種々意見交換が行われ、引き続き教務担当教員を中心に検討することとなった。

5. Faculty Development 担当教員の選出について

研究科長から、説明があり、審議の結果、各校から1名ずつ担当教員（助教以上）を選出することが承認され、後日、大阪校事務担当まで報告願うこととなった。

※ 後日、各校から次の者が担当教員として選出された旨報告があった。

毛利准教授（大阪校）、高橋助教（金沢校）、鈴木准教授（浜松校）

6. 「大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所業務運営経費配分基本方針」について

研究科長から、配付資料により説明があり、審議の結果、承認された。

7. 将来構想ワーキングの設置について

研究科長から、本研究科及び子どものこころの発達研究センターの将来構想について、検討を行うワーキング設置の提案があり、審議の結果、承認された。

なお、構成員は、研究科長、谷池教授、片山教授（大阪校）、東田教授他1名（金沢校）、森教授他1名（浜松校）とし、福井大学がオブザーバーとして参加することとなった。

また、未選出の者について、後日、大阪校事務担当まで報告願うこととなった。

※ 後日、各校から次の者が選出された旨報告があった。

三邊教授（金沢校）、武井教授（浜松校）

8. 募金について

研究科長から、配付資料により説明があり、審議の結果、承認された。

【報告事項】

1. 教員の医療兼業等について

研究科長から、平成21年4月受付分として、医療兼業1件の申請があり、大阪大学医学部医学科医療等兼業問題委員会において、併せて審議され、「医療等兼業の許可申請等に関する取扱要項」に基づき、厳しく審査し、慎重に審議した結果、兼業の申請を許可した旨の報告があった。

2. 障がいとともに考えるセミナーの開催について

片山教授から、配付資料により報告があった。

【その他】

1. 田中専門職員（大阪校事務担当）から、専任教員の大阪大学における身分の取扱いの違いにより、今後、教授会において大阪校専任教員のみに関係する審議事項等（外部資金等の受入れに係る審議や医療兼業等の報告）がある旨の説明があった。

また、併せて金沢及び浜松校専任教員の外部資金等について、大阪大学では受入れができない旨の説明があった。

※ 次回以降の教授会日程は、配付資料のとおり。